

令和7年度事業報告書		事業所名	しおかぜお台場		作成者	原浩文	作成日	R8.3.31
目標	本年テーマ	(計画)お台場の効果を実感を得る						
		(評価)個別に関する時間などを作れるように						
基本処遇及び運営	■令和7年度処遇及び運営方針に対しての評価							
	(計画)新鮮味のあるメニューの提供。(定期的なスペースワンダー等の機能訓練メニューの更新・季節の行事・日帰り旅行など)							
	下津井の街歩きや、地域イベントに出向くなどし、出かけることができるという自信をもてるようにする。							
	測定結果をデータとしてわかりやすい形でご利用者へ提供する。							
	(評価)							
	人員の入れ替えもあり、スペースワンダーについては新しいメニューをそれぞれが考案し実施することができた。							
	お台場＝スペースワンダーといった印象を持ってもらえているところもあるので、これは今後も継続していきたい。							
	街歩きについて、ウリの一つとすべく計画していたが、利用者増に対応できないことや、夏場の天候により出れる回数がほとんどなかった。運動効果の実感として測定結果については都度利用者への説明を行うことで対応した。							
	概ね、利用者に関しては満足を得ているようですが、利用者数の増加に伴い丁寧な対応をこころがけるようにしていました。利用者数の目標には夏場以降達することができていない。							
	研修・セミナー	■職員研修計画と実績						
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績			
		ケアマネ更新研修(未経験者)	石井					
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		虐待防止委員会	全員	安全衛生委員会	法人指定職員			
		介護事故予防委員会	全員	地域支援委員会	法人指定職員			
		感染症委員会	全員	教育委員会	法人指定職員			
		事業所会議	全員	50周年行事	法人指定職員			
				ブランディング	法人指定職員			
				法人相談員会議	指定職員			

防災・災害	■災害訓練計画・実績				
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価	
	4.10月	9.3月	火災避難訓練	計画をもとにしているが、職員には内容の詳細を伝えず実施。職員がそれぞれ判断し、スムーズな避難誘導が行えた。2回とも3分以内に避難完了できている。	
	7月	7月	高潮避難訓練	エレベーターが使えない想定で2階への誘導訓練を行った。また備蓄物品の確認と使い方の確認を行っている	

行事・イベント	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度				
	4 月				
		花見外出			
	5 月				
		生活・健康・身体機能の相談会			
	6 月				
	7 月	高潮避難訓練			
		防災教室(地震台風高潮)			
	8 月				
		かき氷週間			
	9 月	火災避難訓練			
	10月				
		バス旅行			
	11月				
		50周年マルシェ			
	12月	BCP災害研修と机上訓練・BCPならびに感染症対策研修と処理訓練・虐待防止研修・入浴研修・権利擁護研修			
		正月飾りづくり			
	1 月				
		甘酒のふるまいと由加参拝			
	2 月				
		生活・健康・身体機能の相談会			
	3 月	火災避難訓練			

(総評)利用者数について、年度当初は目標達成に近い数値であったが夏場(8月ごろ)に利用者が休みだと途端に計画を達成することができなくなかった。(詳細は下記参照)年間通してその夏場の利用減少分を取り戻すことができず年度末に至っている。利用者数は7年4月で1日平均23名であったが、年度末時点では26名と増やすことにはできている。利用登録者が休まずに来ることができた場合には目標達成できていたので、新規獲得と同時に休みを減らす取り組み(感染症への注意喚起、筋力や気力低下の予防等)を今後も行っていく。サービス提供面では利用者増加に対して職員が不足していた時期や高温であった時期が長く、街歩きにもっと出る予定であったがあまり外出歩行が行えていない。また、体力測定 of データを利用者へフィードバックすることについて測定後に個別に話をするなどして効果の実感に努めている。

地域支援については、地元とのかかわりをサロン活動については継続できている。地区社協活動など前年が初めてだったことに比べて2年目になって、よりスムーズにまた密に関わることができた。地域での知人も増えてきたように思います。また災害時のサービスの利用満足度は高いと思われるが、他社競合施設もオープンするなど油断はできない。今後も満足度の高い施設を目指して結果として利用者確保につながるよう丁寧な対応を徹底していきたい。

定量目標の達成度について

年間のべ7112名の利用目標に対して6372名と、89.5%の達成率となった。月間で見ると4～7月までは99%平均で概ね目標通りであったが、8月以降は80%台前半の数値から徐々に80%後半に上がっている。収入は上記の件に伴い予算対比で1か月分程度低くなっている。支出は予算通り程度にはおさまっている。